

PrintBarrier Corporate Edition 制限事項

	制限事項	詳細	備考
1	印刷枚数のカウントについて	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordでは複数部数を印刷しても一部数分しかカウントすることはできません。 ・メモ帳、ワードパッド、アクロバットリーダー、ペイントでは、右クリックでのポップアップメニューからの印刷ではカウントすることはできません。 ・プリンタドライバ側で集約設定した印刷は正常に枚数がカウントされません。 ・仮想NIC (network interface card)を導入しているマシンで、新規ユーザーグループ (WorkGroup)所属かつ同一アカウント名の場合、印刷の実績が正常にカウントされないことがあります。 ・他のAPIフック技術を使用する製品が先に起動される場合、PrintBarrier Corporate Editionが正常に動作しません。 ・京セラミタ社のモノクロプリンタの“KXドライバ”をインストールしている場合に、モノクロプリンタに印刷をしてもカラーとしてカウントされてしまうことがあります。一度、“KXドライバ”を削除して、“Miniドライバ”をインストールして印刷をお試しください。 	
2	メインマネージャの運用ユーザについて	メインマネージャを運用するユーザは、管理者権限を持っていなければなりません。	
3	ユーザ管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザ情報をドメインから取得可能なユーザはActive Directoryの組織単位(OU)に属しているユーザが対象になります。 ・ワークグループのユーザにはユーザ単位での印刷制限はできません。グループへの印刷制限のみ可能です。 	
4	WindowsXPでのユーザの簡易切替について	WindowsXPにおいて「ユーザの簡易切替」機能には対応しておりません。別のユーザで使用するときは、ログオンなおしてください。	
5	印刷枚数制限について	プリンタのプロパティの「詳細設定」タブの「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」設定が、デフォルトの「すぐに印刷データをプリンタに送る」になっている場合、印刷枚数制限超過時の設定を印刷禁止にしても、印刷がされてしまいます。設定を、「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」にしてください。	